

ショートピース！は、今年で12年目を迎えます。昨年は、東日本大震災によって存続さえも危ぶまれましたが、多くの方々に支えられて開催できました。その感謝を胸に、今年のテーマは「継続」です。昨年生まれた映画たちが、新たな物語を紹ぎます。さらには、映画祭という場が作り手と観客と映画をつなぐ空間になる、「観る」だけで終わらない企画が盛りだくさん！ 3日間、映画にどっぷりと浸かってください。

※当日は諸事情により、プログラムの内容やゲスト、スケジュールの変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

7Fスタジオシアター

A

イタリアン・ショート From ラクイラ 〈日本初公開〉

06年より映画祭が開催されているイタリア中部の都市ラクイラは、09年に地震に遭い、大きな被害を出しました。昨年11月、ラクイラ映画祭で本映画祭制作作品『明日』が海外初公開されたことをきっかけに、今年は交換プログラムが実現。映画への愛が、震災という悲劇を超えて、真の復興をめざす二つの都市を繋ぎます。

[L'Aquila Film Festival 公式ホームページ] <http://www.cleves.it/>

15日
11:00

上映作品

『Stand by me』 2011年 / イタリア / カラー / 15分 監督: Giuseppe Marco Albano
『Miracolo aquilano (The Aquila Miracle)』
2011年 / イタリア / カラー / 14分 / 監督: Stefano Mutolo, Marco Iannini
『Gamba Trista (Loser leg)』 2010年 / イタリア / カラー / 8分 / 監督: Francesco Filippi
『L'arbitro (The Referee)』 2008年 / イタリア / モノクロ / 16分 / 監督: Paolo Zucca
『Il soffio della Terra (Breath of earth)』 2009年 / イタリア / カラー / 15分 / 監督: Stefano Russo
『Rita』 2009年 / イタリア / カラー / 20分 / 監督: Fabio Grassadonia, Antonio Piazza



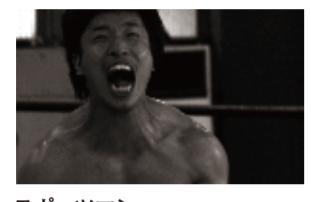
B

311その後～もうひとつの新しい「明日」

2011年の東日本大震災の後、本映画祭ゆかりの41名の監督たちによって、3分11秒の短篇から成るオムニバス『明日』がつくられた。

『明日』制作過程で生まれたもうひとつの物語一知られざる「明日」や、本作を経て生み出された新作を、一挙上映します。

15日
13:00



スポーツマン

2011年/日本/カラー/15分
制作・脚本・監督・編集: 真利子哲也
プロレスジムの練習生、吾郎は、リングに立つことなどまだ先の話であった。ところが、伝説の覆面レスラーである父が今朝も腰を痛がす時の人となり、吾郎まで注目を浴びてしまう。過酷な練習に体を痛めながらも、仲間の期待を受け、無言のまま試合に向かう彼を待つものは…。



アイツがやって来る

2011年/日本/カラー/5分
監督・脚本: 日原進太郎
とある田舎町のある一軒家。清志は、このところずっと嫌がりがよくない。一人娘の英子から、結婚の挨拶のため、彼氏を連れて帰省する連絡があったのだ。娘たちがやって来まといふ矢先、突然大きな振舞が町を襲う。

或る女の宇宙

2011年/日本/カラー/12分
監督・撮影・編集: 境 千慧子

測量技師たち

2011年/日本/カラー/13分
監督・脚本: 志子田勇
新たに築かれる街を描いため、測量機材を抱えた6人の男が、荒野となつた町にやってきた。しかし、制御できしない存在の到来に、彼らは目を背ける。それが、物語の始まりだった。震災後の昨年7月に、陸前高田市で撮影された意欲作。

スカイダイビングNo.1

2011年/日本/カラー/3分11秒
監督: 守屋文雄 出演: 水澤伸吾
協力: スカイダイブ藤原 山田千晴

仙台短篇映画祭11の後日談。私は、高度3000mの上空を飛ぶヘリコプターから、水澤が落ちて行くのを見撃した。そのとき初めて、彼のとんでもない企てに気付く。



15日
15:00

そしてまた、明日～311仙台短篇映画祭 映画制作プロジェクト作品『明日』

それでも映画が観たい、映画祭がやりたい…余震の続く仙台からの声を受け止めてくれた41人の監督による、本映画祭初の制作作品。昨秋より国内外の様々な場で上映され、たくさんの人々を繋いだ本作品を、今一度仙台の地で味わい、あなたの明日へ繋いでください。

明日

英語字幕付き/with English subtitle 2011年/日本/カラー・モノクロ/137分

条件は、3分11秒。「明日」というテーマのみ、それぞれに震災と対峙、葛藤した42の短篇は、多様な切り口を持ちながら互いに応応し、観る者の心を揺さぶるダイナミックな作品をかたちづくっている。

監督: 佐々木理沙、生田尚久、井上剛、今泉力哉、江尻悠、ウッド・ポンニネット、岡田まり、甲斐由祐輔、片桐邦、加藤直輝、河瀬直美、境千恵子、佐々木大介、塙央典、佐藤晶祐、塙明彦、大曾田勇、鶴木太一、鈴木卓爾、瀬田亮介、タカハタ秀太、田中博之、田中羊一、田中要次、平山史、道竹真寛、富永昌敬、外山尚久、内藤瑛亮、野原裕之、朴美和、濱口竜介、原田進太郎、日向朝子、平林勇、堀江慶、真利子哲也、守屋文雄、山下敦司（眞夜中の子アシタ）-、和島香太郎

16日
11:00

沖田修一&守屋文雄 てれてれなふたり

12年公開の『キツツキと雨』で監督と共に脚本を担当した二人の出会いは、日本大学芸術学部・映画学科。守屋は、併優としても沖田作品に登場している。ちょっとシニカル、それでいてほっと温かい人間関係。（たぶん）仲良しひと組が紡ぎ出す、観る者の口角が思わず上がるてれてれワールドをご堪能ください。



俺の切腹（シティボーズのFilm noir）

2010年/日本/カラー/22分
監督・脚本: 沖田修一
出演: 岸川アトム、中村有志、斎木しげる、きたろう

第三部は幕府の陰謀に巻き込まれ、オランダ船襲撃ながらひに幕府官僚暗殺未遂の罪で切腹を言い渡される。死を目前にして彼が最も頭を悩ませたのは、死への恐れでも現世への未練でもなく、辞世の句だった。

青梅街道精進旅行

2008年/日本/カラー/58分
原案・監督: 沖田修一 脚本: 守屋文雄
出演: 高良健吾、大島晋子

第三部は幕府の陰謀に巻き込まれ、オランダ船襲撃ながらひに幕府官僚暗殺未遂の罪で切腹を言い渡される。死を目前にして彼が最も頭を悩ませたのは、死への恐れでも現世への未練でもなく、辞世の句だった。

沖田修一（おきたしゅういち）

77年埼玉県生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業後、監督した数本の短編作品が、水戸短編映像祭などで受賞。テレビドラマなどの演出で、『南極料理人』、『キツツキと雨』が公開される。新作『横道世之介』が来年公開予定。

新しい才能に出会う

本映画祭とともに歩んできた公募作品上映プログラム。今年も138本に上る多数の応募がありました。映画祭が選りすぐった注目の4作品を上映し、沖田修一監督と守屋文雄監督をコメントターに迎え、映画の可能性を発掘していきます。

16日
13:00

ひびり

2011年/日本/カラー/20分
監督: 新井哲

離れて暮らす姉妹が、久しぶりに數日同居すること。姉は秘ひて入っているが、妹はそれに触りようとしている。秘密は、透明なガラスに潜む無数のヒビに似ている。姉妹と他人の関係を行き来しながら、心をすりあわせていく二人の人を描く。

さめざめ

2012年/日本/カラー/20分
監督: 星崎久美子

夏子と草が暮らすアパートの更新時期がやがてきた。二人の関係に倦怠期を感じる夏子は、不機知そうに新居を探し始めた。本にクガを書いてしまう。次の日、クガが誰かが返事書を書いているのを見つけ…。

Scribble

2012年/アメリカ/カラー/8分
監督: 中村友也

いつものように図書館で本を読みふける少年オスカ。ユウカツな気持ちから、本にクガを書いてしまう。次の日、クガが誰かが返事書を書いているのを見つけ…。

えんがわ

2012年/日本/カラー/11分
監督: 古新舜

千紗は、隣側で父・芯也と一緒にいるのが大好き。ところが、母・美穂の妊娠を機に、ひとりぼっちの時間がが多くなる。そんな千紗を気にかける祖父・圭一だが、彼女は相手にしようともしない。そして季節は移ろい、家族にも変化が生まれる。

新井哲（あらいさとし）

78年茨城県生まれ。『さらランドセル』がゆうばり国際ファンタスティック映画祭2008年、『ヒーロー映画と佐藤のこと』が第10回TAMA NEW WAVEにてクリーク・アンド・リバ・社賞受賞を経て渋谷UPLINKにて劇場公開された。本作で、女性監督による上映集団「桃まつり」に参加。

星崎久美子（ほしさきくみこ）

81年神奈川県生まれ。05年『おぼろげに』が東京ビデオフェスティバル2006奨励賞、08年『スエディス部屋』が第9回TAMA NEW WAVEにてクリーク・アンド・リバ・社賞受賞をして渋谷UPLINKにて劇場公開された。本作で、女性監督による上映集団「桃まつり」に参加。

ゲスト
来場

託児
サービス
あり

16日
16:30

F

F

16日
16:30

歪(いびつ)な愛が映画を救う 大畑創×内藤瑛亮

安易な予定調和に喝！ 独特のスタイルを貫き、映画ならではの表現を駆使して映画愛にあふれた作品を生み出す両監督。

今後へ期待が高まる二人が繰り広げる、インディーズ映画界最強のタッグマッチです。本映画祭が注目する問題作からくれぐれも目をそらさず、とがったバトルの行く末を刮目してください。



へんげ
2011年/日本/カラー/54分
監督・脚本: 大畑創
特撮監督/技術監督: 田口清隆
出演: 森田亜紀、相澤一成
©2012 OMNI PRODUCTION



先生を流産させる会
2011年/日本/カラー/62分
監督・脚本・製作: 内藤瑛亮

地方都市の中学校で起きた実際の事件を脚色。郊外の女子中学校に勤める教員サワコの妊娠に、日常に迷惑していた生徒たちは色めき立つ。彼女に嫌悪感を抱いたミミキたちは、「先生を流産させる会」を結成。嫌がらせの暴走は加速していく。



大畑創（おはたはじめ）
79年大阪府生まれ。06年、映画美学校修了制作『大鉄錆』がゆうばりファンタスティック映画祭とアフィルムフェスティバルで審査員特別賞を受賞。10年には『怪談新耳袋物語』の一編『虫の巣』を監督した。



相澤一成（あいざわかずなり）
69年宮城県生まれ。96年『超光戦士シャンザイゼン』でデビュー後、映画『活躍するほか』、北野武監督『Dools』、『踊る大捜査線 THE MOVIE3』など映画にも多数出演。07年、自ら企画制作した『恋わづらい』は、11年本映画祭「新しい才能」に選出、水戸短編映画祭最終ミネートされた。

内藤瑛亮（ないとうえいすけ）
82年愛知県生まれ。08年『牛乳王子』が本映画祭「新しい才能」に選出、国内外の映画祭で上映された。11年本映画祭制作作品『明日』に『廃棄少女』で参加。長編第一作となる本作は、カナダ映画祭、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭に正式招待された。

G

17日
11:00

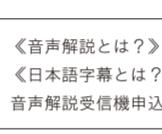
カックン！ 宮城の喜劇王・由利徹、降臨

本映画祭では、09年からパリアフリー上映を開始し、様々なジャンルの短篇を紹介してきました。今回は初の喜劇！ かつて「カックン」「オシャ、マンベ」で爆笑の渦を巻き起こした、石巻が生んだ喜劇王・由利徹の、抱腹絶倒かつ心温まる名品をお贈りします。カックン！そしてドッカン！！ 7階で開催される彼ゆかりの写真展も併せてお楽しみください。



カックン超特急
1959年/日本/モノクロ/65分
監督: 近江俊郎 出演: 由利徹 南利明 池内淳子 大空真弓 高島忠夫

トラック急行運転手の平助と信吉。車が動かなくなるわ、女に騙されるわと今度の仕事はトラブル続々。やっつて思いで撮影所に着けば、なんとかして問題を解決してしまう。このドタバタ珍道中の行く先は…！ 監督の近江俊郎は、昭和を代表する歌手でもあります。



パリアフリー上映とは 全ての人が映画を楽しめるよう、音声解説と日本語字幕をつけた上映です。
『音声解説とは?』 目の不自由な方も映画を楽しめるよう、場面や情景、人物の動作などを音声で伝えるものです。
『日本語字幕とは?』 耳の不自由な方も映画を楽しめるよう、劇中に流れる音やセリフを字幕に起こしたものです。
音声解説受信機申込方法 受信機をご希望の方は、022-713-4484（メイティアテク）へ事前にお申し込みください。

H

17日
14:00

マルグリット・デュラス、その光と影

20世紀のフランス文学を代表する作家、マルグリット・デュラス（1914-9